

インターネットメディア協会の 「信頼と創造」への取り組み

20190627

インターネットメディア協会代表理事
瀬尾 傑

インターネットメディア協会（JIMA）

設立：2019年4月

会員：インターネットメディア事業および関連事業を行う法人、団体または媒体が参加。

特徴：ニュースメディア、エンタメメディアなどコンテンツメディア、ニュースアプリなどコンテンツ、配信、アグリゲーションなどさまざまなレイヤーの主要メディアが参加する。

40以上の法人・媒体が加盟

BBCグローバルニュースジャパン株式会社

ダイヤモンド・オンライン（株式会社ダイヤモンド社）

BuzzFeed Japan株式会社

デジタル毎日（毎日新聞社）

株式会社Gunosy

東洋経済オンライン（株式会社東洋経済新報社）

株式会社JX通信社

株式会社ニュースピックス

NEWSポストセブン（株式会社小学館）

FNN.jpプライムオンライン（Fuji News Network）

SmartNews（スマートニュース株式会社）

プレジデントオンライン（株式会社プレジデント社）

株式会社オールアバウト

文春オンライン（株式会社文藝春秋）

株式会社カカクコム

論座（朝日新聞社）

現代ビジネス（株式会社講談社）

TBSデジタル

など

インターネットメディア協会の目的

「信頼性」と「創造性」を通じて、社会に貢献をしていくネットメディアの集まりを目指す。

社会とユーザーの役に立つため、自由闊達な議論と活発な行動を実現する。

問題意識や知見の共有により、各メディアが力をあわせて、信頼を高める。

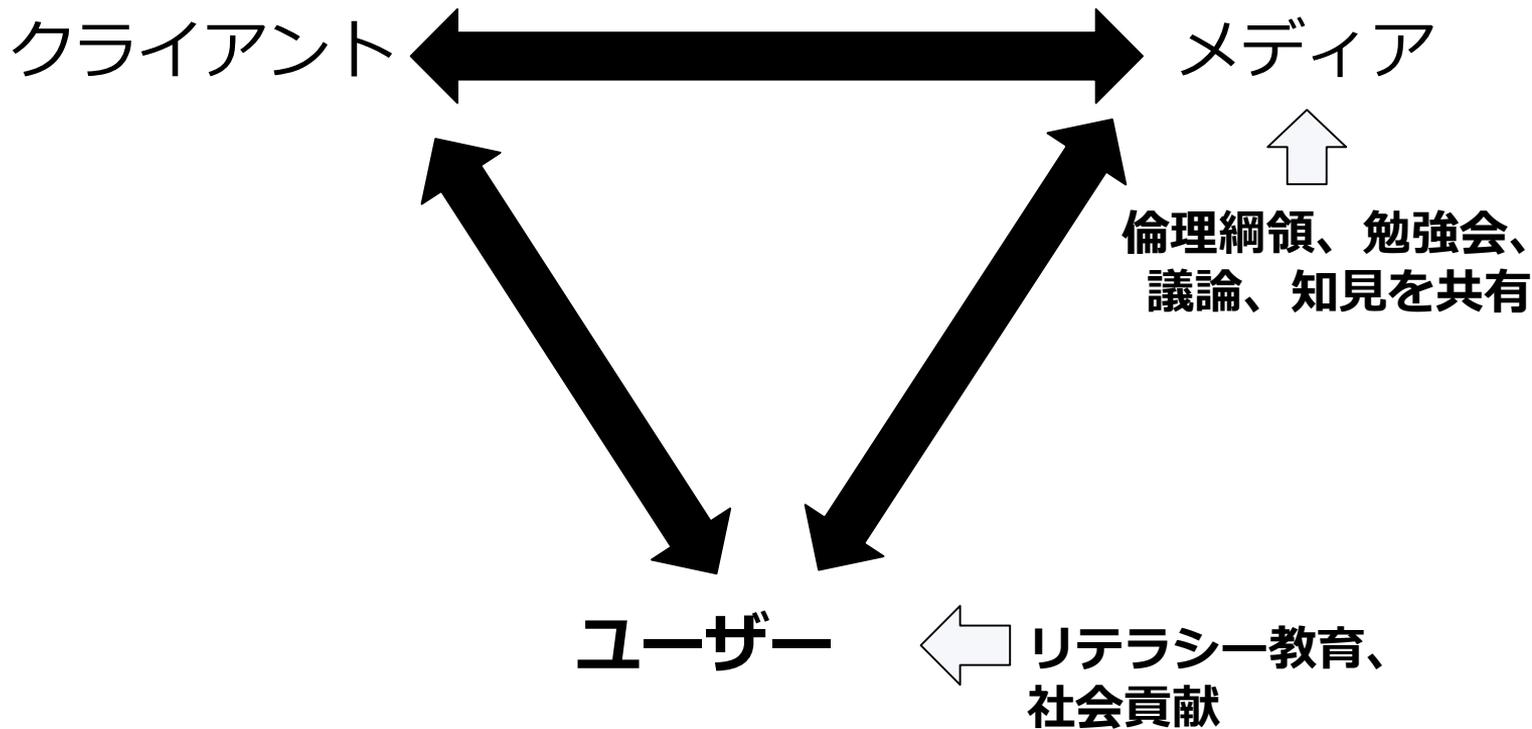
インターネットメディア協会の活動

- 倫理綱領の策定
- 発信者としての信頼向上のための取り組みを勉強会などで共有
- 各媒体ごとの自主的なガイドライン策定などをサポートするための知見共有
- JIAAなど関係団体との情報交換
- 読者のリテラシー教育など啓蒙活動への取り組み
- メディア、プラットフォーム、ニュースサービスの交流の場に

JIMAの信頼への取り組み

- 倫理綱領のもとに行動。
- フェイクニュースやヘイト言論などの対策の知見を共有する。
- 各会員メディアが信頼への取り組みを努力する。協会はそれをバックアップする。
- ネットメディアにまつわる社会問題の解決に積極的に取り組む。
- それぞれの記事のファクトチェックする「ネットの警察」にはならない。
- 信頼できるメディアを目指すものが集まり、ブランド構築を目指す。

ネットメディアの信頼向上



リテラシー教育の普及など啓蒙活動

ユーザー向けのリテラシー教育のセミナーを開催

ホームページ、メルマガなどによる情報発信



先生に

卒業式のことを聞こうとしたら

返事をするのがいやだったのか

なかなか顔を合わせてくれなくて

私たちに逃げるように

体育館のうら口から職員室に

コソコソ行ってしまった

先生に

卒業式のことを聞こうとしたら

~~返事をするのがいやだったのか~~

~~なかなか顔を合わせてくれなくて~~

~~私たちに逃げるように~~

体育館のうら口から職員室に

~~コソコソ~~行ってしまった

フェイクニュース対策への私見

フェイクニュース対策の問題 1) 定義があいまい

(1) 大手メディアや批判的メディアへの「ラベル貼り」

トランプ大統領によるCNNやNYT批判

(2) 意図による分類

misinformation（誤情報）：無意識による間違った情報の発信、誤報

disinformation（偽情報）：意図をもった間違った情報の発信、偽ニュース

フェイクニュース対策の問題 2) 即効性はない

ファクトチェック団体、メディアによるチェック：一部しか対応できない

ビジネスモデルの撲滅：判定が難しい

プラットフォーム業者による規制：中立性、数の多さ

行政による規制：言論の自由、報道の自由への侵害。判定基準がない。

行政が取り組むべき「フェイクニュース」対策

- 自主的取り組みを中心に考える：信頼にもとづくビジネスモデルなど市場での淘汰を目指す。
- 行政の規制は反対：言論の自由を尊重し、現行法で対応
- 実態調査：大学、研究機関への支援
- 情報公開、透明性の拡大：ファクトチェックの元となるデータ基盤を構築。官民のデータの持ち方を共通化
- 情報リテラシー教育の導入：教育現場で子供に伝える

インターネットメディアの未来

メディアの未来はどうなるかわからない。

しかし、どういうメディアの世界にしたいかは、
明確に意思を持とう。

「信頼と創造性で社会に貢献するネット空間を
目指す」